

別紙様式

組織評価の改善状況報告書

平成29年3月29日

評価会議議長 殿

附属図書館長

組織評価に関する実施要項第10に基づき、組織評価（自己評価及び外部評価）結果に係る要改善事項について、次のとおり平成28年度の改善状況を報告します。

要改善事項
専任教員の配置がされていない。
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
専任教員の配置が可能となるまで、大学教育センターが平成25年度から実施を開始した学習サポート事業（チューターズルーム）に連携協力するなど、学内教員との実質的な協働体制を進展させる。
改善状況
平成28年度においても大学教育センターが実施している学習サポート事業への連携協力を継続実施した。
達成年度（予定を含む）
平成29年度以降

要改善事項
施設整備、資料保存に関わる長期計画ができていない。
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
施設整備については、浜松分館の改築と収容力強化を確実に実施していく（第一期としては平成26年度オープン）。また、静岡本館の狭隘化については、浜松分館の保存書庫整備の進捗状況や資料電子化の進展も踏まえ、平成26年度以降、静岡本館と浜松分館を含めた資料保存の長期計画を作成する。
改善状況
平成26年度に浜松分館の改築（第一期）を行いリニューアルオープンした。平成28年度末から浜松分館第二期工事が着工され、平成30年6月オープン予定である。 平成26年度～平成28年度の3期にわたり浜松分館に集密書架を設置し、収容力を強化した。 なお、平成28年度に静岡本館の資料2万冊程度を浜松分館に移管する予定であったが、前述のとおり浜松分館第二期工事が着工されることとなったため平成30年度以降に延期した。
達成年度（予定を含む）
平成29年度以降